

問い合わせ先 菊池一族プロモーション室 ☎0968(25)7267

## 17代 菊池武朝 ① (1363・1407)

### 戦乱の日々

武光の没後、16代武政もその翌年に戦没し、一族に遺されていたのは武光の孫、わずか12歳の賀々丸(後の武朝)でした。元服も迎えぬうちに南朝方の侍大将として立ち、祖父と父を亡くした高良山を後に菊池へと撤退。翌年13歳で九州探題今川了俊の大軍勢を菊池の水島で迎え撃ち、華々しい勝利を飾りました。しかしその後、後征西将軍

として懐良親王の甥、良成親王を迎えて挑んだ蝮内の戦いに惨敗。多くの側近を失いました。

その後体制を立て直して挑んだ詫麻原の合戦では、大軍勢を相手に勝利を収めました。が、全体的な戦局は奮わず、菊池の本城も奪われて征西府は次第に肥後南部へと追われました。川尻から宇土、最終的に八代まで南下して抗戦を続けています。

良成親王  
武光の死後、失意のうちに征西将軍を隠退した懐良親王の後

継として征西府を率いた後村上天皇の皇子です。武朝と年齢も近く、幼少期は大宰府で共に過ごしていたこともあり親しい間柄だったことが想像されます。17年間にわたり、武朝と共に動乱の世の中を戦い抜きました。

### 菊池武朝申し状

長引く戦況の不振に、南朝内部にも戦乱の終結を望む声上がり始めます。あくまで南朝再興を目指し徹底抗戦の構えを崩さない武朝と良成親王は、次第に孤立していききました。

1384(元中元)年、武朝の失脚を目論む一派が、南朝朝廷に彼を貶めるような内容の訴えを起こし、朝廷は真偽を確かめるために使いを出して問いただします。これを受けて武朝は自ら筆を執り、一族が示してきた忠義の数々と、自らの潔白を主張しました。

この書状は「菊池武朝申し状」と呼ばれ、後に菊池一族の略歴を示す貴重な史料として評価されました。南朝朝廷はこれを受け入れ、武朝の地位と菊池一族の名誉は守られました。

## ◆絵画連作◆ 幻の都 城下町菊池

絵・文／橋本以蔵

### 第一章 武光公の築いた絢爛たる都



#### 其の9 迫間川の断崖

もとは深川にあった菊之城から、武光公が本拠を隈府に移しました。そこは詰めの城とした守山と迫間川の断崖に囲まれた天然自然の要塞。外城の配置や菊池川、迫間川の2大河川と、広大な湿地帯が敵の侵攻を防ぎます。完璧なまでの守りが作り上げられました。



17代 菊池武朝(左)  
良成親王(右)

本シリーズは「菊池市史」を基に作成しています。

## わいふ一番館

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

### 【ギャラリー】

「吊し雛展示会」吊し雛愛好会  
代表者 高山和子

楽しいひな祭りの行事に、吊し雛を添えました。女の子の健やかな成長と幸せの願いを込めた作品展です。

期間:2月11日(火)祝～3月8日(日)

### 写真や絵画などを展示しませんか。

わいふ一番館ではギャラリーに作品を出展する人を募集しています。詳しくはわいふ一番館までお尋ねください。



開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

## 菊池観光交流館

問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

### 市民広場でイベントを行いませんか

菊池市ふるさと創生市民広場内の大屋根広場では、イベントやバーベキューができます(要予約)。詳しくはお問い合わせください。



### 写真や絵画などを展示しませんか

菊池観光交流館では、展示コーナーに作品を出展する人を募集しています。詳しくは菊池観光協会までお尋ねください。



開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 第4火曜日(臨時的に休館する場合あり)